

反原発掲げNY行進 福島から避難の母子



8日、反原発を訴えてニューヨーク・マンハッタンを行進する富塚悠吏君（手前左）と深川凱聖君（手前右）（共同）

【ニューヨーク共同】東京電力福島第1原発事故による放射線の影響を避けるた

め、福島県から首都圏に自主避難した母子が8日、ニューヨーク・マンハッタンで

反原発を訴えるプラカードを掲げ、デモ行進した。

横浜市に避難している小学4年生の富塚悠吏君（10）が「皆さん、福島原発事故は収束していると思っっているかもしれませんが、収束していません。どうか日本を助けてください」と支援を訴えた後、米国の反原発グループと一緒にマンハッタン南部の公園を出発。

富塚君と、東京都世田谷区に避難した小学1年生の深川凱聖君（7）は2時間かけて国連本部近くまでの約6キロを歩き切った。「パンパンで痛い」と脚をさすっていたが、充実した表情だった。